

# 摘み草サミット

～時代から時代へ～

野草一筋！元NPO法人 日本摘み草研究会  
日本つみくさの会会長の篠原準八氏率いる摘み草サミット。

30年以上の活動とともに

篠原氏が手がけた全国の摘み草町おこしの取り組みや事例を講演します。  
また、篠原氏から『摘み草サミット』の看板を、つちころび鶴岡舞子に引き継ぎ、  
時代から時代への摘み草文化のさらなる発展と、  
次世代へ希望を贈るセレモニーを同時に開催。

摘み草は、日本特有の文化。

甘草栽培の歴史が全国で唯一残る、  
甲州塩山の甘草屋敷において新たな歴史を作る一歩を踏み出します。



日にち

2017年10月8日(日)

場所

旧高野家住宅(甘草屋敷)

山梨県甲州市塩山上於曾1651-15 JR中央本線「塩山駅」北口目の前

時間

①16:00～18:00 篠原氏講演会『摘み草の魅力と地域の可能性』(入場無料)  
休憩・会場移動

②19:00～22:00 摘み草料理を囲む懇親会(要申し込み)

談話室コロボックル ●参加費 5,000円(定員50名)

山梨県甲州市塩山上於曾1585 JR中央本線 塩山駅北口徒歩3分

※お問い合わせ、申し込み先

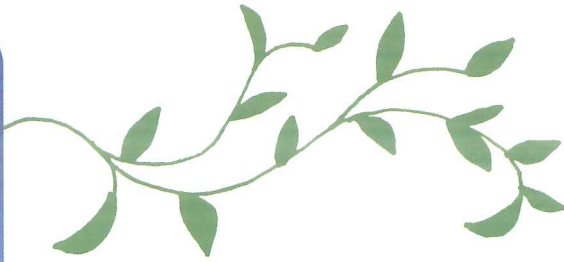
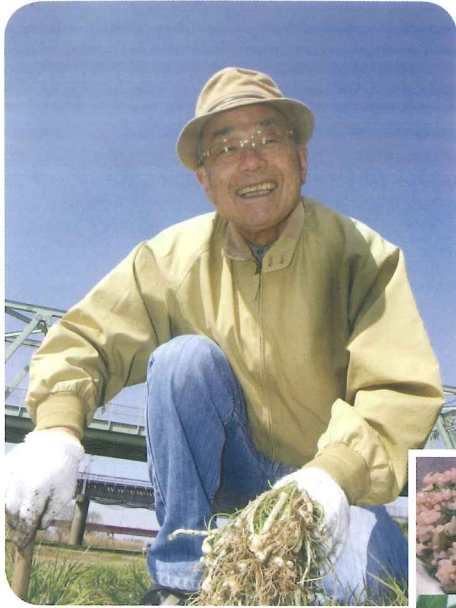
摘み草サミット～時代から時代へ～実行委員会事務局

〒404-0051 山梨県甲州市塩山竹森1725-1

e-mail : fukuneko01020169@yahoo.co.jp 電話 : 090-5214-1713(事務局)

主催◆摘み草サミット実行委員会 協力◆甲州市教育委員会文化財課





## 講演講師

山野草研究家/元NPO法人 日本つみくさ研究会理事長

### 篠原準八氏 しのはら じゅんぱち

1933年群馬生まれ。

早稲田大学卒業。新聞記者時代に調理師免許を取得し、山野草研究家となり、独特の「つみくさ料理」を次々に提案、テレビ、雑誌などで活躍。また「山野草ツアー」の草分けでもあり、元NPO日本つみくさ研究会の会長をつとめ、13回に及ぶ全国各地で「全国山野草・つみ草料理サミット」のコーディネーターも手がけていた。全国の自治体や企業に招かれ、地域おこしコンサルタント・観光大使として活躍。著書多数。代表作「実用つみくさ薬効料理」。



## 野草の日憲章

気候風土に応じて、各地に多種多様な食物があります。自然に自生する野草は自然食で風味や薬効があり、健康にも良い植物も数多く存在します。飽食時代の今日、野草は食生活改善や生活に潤いを与えるものです。また、野草は自然の食材で食材供給者と料理提供者の協力により、地域振興や観光振興に寄与するものでもあります。こうした点に着目し、野草を研究し摘み草料理を普及することにより、健康の増進や地域の活性化、観光振興を図ることを目的として、8月10日を「野草の日」と制定します。全国から参加した野草に関する我々は、相互の情報交換を図り、その活用策の研究やPRに努めるとともに野草の活用について広く提言します。

## 旧高野家住宅(甘草屋敷)について

高野家は、江戸時代に薬用植物である甘草の栽培をして幕府に納めていた家で、古くから「甘草屋敷」と呼ばれてきました。高野家の沿革がわかる貴重な資料「甲州甘草文書(県指定文化財)」によると、八代将軍徳川吉宗治世の享保5年(1720)、幕府の探乗使丹羽正伯が高野家屋敷内にあった甘草を見分した結果、幕府御用としてその栽培と管理が申し渡されるとともに、一反十九歩の甘草園は年貢諸役を免除され、以後同家が栽培する甘草は、幕府官営の薬園で栽培するための補給源として、また薬種として幕府への上納を負うこととなりました。



### アクセスマップ



お車でお越しの際、駐車場は第1、第2とございます。第2のほうが多く駐車可能です。当日は誘導員がご案内致します。